

# はなぞの



社会福祉法人 貴陽福祉会 特別養護老人ホーム南花園 松戸市河原塚102-8 TEL 047-392-0881 FAX 047-392-0882  
特別養護老人ホーム第二南花園 松戸市紙敷 1186-8 TEL 047-392-3336 FAX 047-392-3366

## 「はなぞの」一〇〇号の想い

社会福祉法人 貴陽福祉会

理事長 矢野 久芳



南花園も昭和六十三年四月一日開設以来二十八年目を迎えております。お陰様で年四回発行している南花園だより「はなぞの」も第一〇〇号の発行となりました。園便りの果たす役割は施設で行われている行事、法人の事業、そして老人福祉制度の移り変わり等正しい情報をご家族やご利用者をはじめ、地域に発信していく事であります。

南花園も開園から十二年間は措置制度でありましたが、平成十二年四月より介護保険制度となり、高齢者福祉は大きく変わりました。  
与えられる福祉から選べる福祉へと変わり、高齢者福祉も特別養護老人ホーム以外の福祉サービスは営利を目的としない社会福祉法人やNPO法人だけではなく、一般企業も参入できるようになります。南花園は十周年で「南花園の歌」を作り、平成十二年三月には

増築をし、現在特養七十六床・ショートステイ十四床・デイサービス・居宅介護支援事業を行っています。また、法人設立二十五周年事業として、平成二十四年九月に第二南花園を竣工させ、従来型特養五十床・個室ユニット型特養三十床・個室ユニットのショートステイ十床であります。第二南花園は東部地区の中心地にあるため、松戸市東部地域包括支援センターを南花園から第二南花園に移転しました。また、時代のニーズに答えるため二十人お預かりできる事業所内保育所も設置し、職場環境の向上も図っております。

二十八年の礎を糧とし、南花園・第二南花園をご利用されている皆様方が心安らぐ施設であるためには、職員のチームワークが最も重要なと考え、「思いやる 心を胸に チームの和」を合い言葉に、千葉県・松戸市はもとより、高齢者福祉施設協会・松戸市特別養護老人ホーム連絡協議会他、多くのボランティアの皆様方のご指導・ご協力を頂きながら高齢者福祉の向上に努めて参る所存であります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



「敬老会」にて



「夏祭り」にて



# 平成27年9月13日 第二南花園 敬老会・秋祭りを開催しました!

清々しい秋晴れの中 入居されている皆様の長寿を祝し、尊敬と感謝の気持ちをこめて敬老会・秋祭りを行いました。



いつも増して、輝いています



\*笑顔はじける 秋祭り!! \*

## こんな行事もありました



梨狩り



花火見物



十五夜



個別外出



木戸エリカ様慰问

## ボランティアの皆様 どうもありがとうございました。



模擬店のお手伝い



『私が主役』 凛とした姿が素敵です。



なんだか今日は いつもと違う!!!



\* 部屋もお席も私もおめかし \*

事前準備も頑張りました

## こんな行事もありました



外食



みんな大好き! 木戸エリカ様



花火



四世代仲良し

はなぞの 第100号・2015年10月

貴陽福祉会機関紙「はなぞの」は今回の十月号で、めでたく一〇〇号を発行する事ができました。これは利用者様をはじめ、関係したすべての方々のご協力によるものであります。そこであらためて、発行した今までの「はなぞの」を振り返ってみたいと思います。南花園は、一九八八年に開園しており、しばらくして手書きミニ新聞を発行。「一九九〇年十二月より「はなぞの」が誕生しました。

南花園の活動については、特養での夏祭り、敬老会の二大行事はもちろん、初詣から始まりクリスマス会まで、季節の行事や慰問、遠足、茶道クラブなど、今の行事とほぼ変わらない事を行っており、今と違うのは元気な利用者様が多かつたのか「運動会」も行われていたようです。もちろんデイサービスも多彩なレクリエーションを提供しています。

第九号では、ディズニーランドに行つた事の記事も!!そして、第十号からは表紙の写真、だけですが、カラーになりました。

第二十五号一九九八年一月号は「松戸市東部地区介護支援センター」を開設。第二十八号には、デイサービスの記事で、現在も南花園階エレベーター横の壁に飾つてある大きな額のちぎり絵作品、「矢切の渡し」を利用者様と制作した記事が掲載。

第三十一号では、開園満十周年記念式典を行い、日ごろお世話になっているボランティアの代表者様をお呼びし、感謝状をお渡しし、「南花園の歌」を発表した記事もありました。

第三十二号の記事には、佐渡ヶ嶽部屋の慰問で、中庭に土俵を作つて相撲を実演し、利用者様とふれあう写真が載っています。三十八号二〇〇〇年五月号には、新館増築竣工の報告があり、この年は四月より介護保険制度が始まった年でもあります。

第四十二号からは、サイズも一回り以上大きくなり、デザインも一新。現在の基本形となるフルカラー版となっています。

今までの「はなぞの」をあらためて読み返してみると、本当に色々な出来事があり、とてもこの短いコラムで語れるようなものではありませんでした。

皆々様に感謝をし、話題性のある記事をピックアップして終わりにしたいと思いました。

第六十八号、施設長「藍綬褒章」受賞（長年の消防業務の功績による）大変栄誉な事であります。

第七十八号、日本人女性一人目の宇宙飛行士として宇宙に飛び立つた、山崎直子さんは当法人理事の姪子さんと言つ縁がありました。

第八十二号、二〇十一年四月号この年の三月十一日はあの東日本大震災で、幸い南花園では利用者様や職員と施設建物などに、ほとんど被害はありませんでしたが、桧山相談員など数名が被災地にボランティアで行きました。被災した利用者様の受け入れ支援をしております。

第八十八号、二〇一二年十月号第二南花園を開園し、南花園で相談員を務めていた下森 宙を施設長としてJR東松戸駅に近い地に益々高齢化する社会の受け皿として、特別養護老人ホームを開設、地域での手厚いサービスが期待されています。

第八十九号から「はなぞの」は、本格的に南花園と第二南花園の記事を振り分けたデザインに変更。これからも、読者の皆様に楽しんで頂けるよう頑張ります。



**主任介護員に聞きました!**

特養主任介護員 長谷川 立憲 入職日 平成六年三月十七日

Q1 入職当時の南花園は、どんな様子でしたか？  
A 時代のせいか、今よりのんびりしていた様に思います。

Q2 今まで働いてきて、印象深かつた出来事や、利用者様について簡単でいいので教えてください。  
A 入職したときにいた利用者の方は一人もおらず、職員もどれだけ入れ替わったか・・・ちょっと寂しいです。

印象深い出来事といえば、ある年に河原塚小学校の運動会見学に行つた帰り道で、利用者の方が疲れてしまい動けなくなつたので、園に着くまでに急な坂道をその方をおんぶして帰園しました。その方はふつぶらしていく、大変だった事今でも鮮明に覚えてています。

Q3 これから貴陽福祉会又は、南花園について、どのような施設にして行きたいか聞かせてください。  
A ご利用者あつての自分たちの立場で、ご利用者の立場に立ちスタッフ一人一人が考え、話し合う中で、コミュニケーションを密にし、これから時代に沿うような介護をしていければと思います。この業界人材不足は否めないです。少しでも働きやすい環境を整え、働いてくれる人材が増えることを願っています。

## デイサービス便り



村原 直美

以前、南花園で勤務していましたが、また縁があり九月より再入職しました。今年の夏は、異常な暑さの猛暑が続き、九月に入ると急激に気温が下がり、ほつと一息(ひそ)でも、この涼しい秋もあつとう間に終わってしまいます。皆様体調はいかがですか？体調を整えるにはバランスの良い食事が何より大切です。そして適度な運動をすることで血のめぐり・リンパのめぐりが良くなり、健康をサポートしてくれます。南花園デイサービスでは、個別・集団リハビリや適度な体操を行っています。自宅では中々体を動かす機会が少なく困難です。皆様が、一緒に楽しく健康的な一日を過ごして頂けるよう、個性や良い案を出し合いで、宜しくお願ひ致します。



### こんな行事もありました じゃんけん仮装



## すいか割り

八月に恒例のすいか割りを行いました。目隠しをし、棒を持って頂くと、周りで見てる方が「前、前、右、もう一步後ろ」等と掛け声が上がり盛り上りました。「絶対割る」と思って伝わってきました。何度も挑戦して頂き、大きなすいかが割れると皆様の笑顔とすいかの香りで一杯になりました。

ここ数年毎年恒例になつていて、流しソーメンを行いました。このところ夏の日差しが強くてとても暑いので、中庭ではなく新館一階の、駐車場で行いました。皆様楽しみにされていて、ちゃんと掴めるか心配していましたが、皆様ともに上手にソーメンを掴み美味しそうに召し上がつっていました。

## 流しソーメン

今年の納涼会は、デイでは初めて神輿を作ることから始めました。段ボールと折り紙で作つたとは思えないほど立派な神輿が完成すると皆様笑顔が園内に響いた三日間の夏祭りは、笑顔いっぱいのレクになりました。

## 納涼会～夏祭り～

「人として 人間らしく生きるために 佛教心をもつて 伴にくらしましょう」

## 貴陽福祉社会のブログ紹介

貴陽福祉社会のホームページ＆ブログ是非ご覧ください  
要望・お気づきの点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい  
検索は「南花園」で。下記のブログアドレスからもどうぞ↓↓  
[http://blog.canpan.info/kiyou\\_hukusikai/archive/56](http://blog.canpan.info/kiyou_hukusikai/archive/56)

きょう（貴陽）のはなぞの

社会福祉法人貴陽福祉社会のブログです。  
南花園＆第二南花園の職員ブログです  
日々の様子をお楽しみ下さい。



松戸市では子供たちの安全・安心のために「こども一〇番の家」として通学路等に接した家に協力を頂いております。特別養護老人ホームは二十四時間三六五日必ず職員がいるところであり、不審者または危険を感じたらいつでも逃げ来られる場所として、南花園と第二南花園の入口に左記写真の「こども一〇番の家」を設置しています。

## こども一〇番の家

### 今日も元気な保育室



### 南花園今後の予定

1月 初詣 寿司出張 初釜  
2月 蕎麦打ち ゆず湯  
3月 クリスマス会  
4月 餅つき大会

### 第三南花園今後の予定

1月 冬至イベント 曲初め  
2月 紅葉見学  
3月 21世紀の森と広場散策

## 第一南花園 新入職員紹介

私達は新たな希望を胸に頑張りますのでよろしくお願い致します



従来型  
非常勤介護員  
ボランティアナシゴト



チャンティティエン  
従来型  
非常勤介護員



須磨 溪太  
従来型  
非常勤介護員



太田 佐智子  
従来型  
非常勤介護員



古川 佑一  
ユニット型  
介護員



森尾 直実  
従来型  
介護員

## 天人五衰

今年も多くの方が長寿のお祝いをされ、誠におめでたいことです。そこで「寿命についてのお話をしよう」と思います。

仏教の世界では、解脱しない限り六道輪廻と言ふ六つの世界地獄界・餓鬼界・畜生界・阿修羅界・人界・天界を生まれ変わって巡ると言います。

しかもさらに下層の地獄や、上層の天界では一

百万年で五百歳、天界の最下層の下天では一日、五十年で五百歳、約九百万年の寿命で信長さんの人生五十年はこの事なんです。しかもさらず天の長さも寿命も永くなっています。ほんんど不死とも言えそうですが、寿命があることには変わりなく死んだら次はどこ世界に転生するかは天人でもその行いしだい。

地獄で「毎日の責苦にひたすら耐える」と、天界で「望みのままに遊び暮らせる中で自分を律する」とは、どちらが難しいのでしょうか？ 天界を去る方が「地獄の十六倍の苦しみ」と言います。天人は寿命が近づくと五つの特徴が身体に顯れるそうで、天人は頭に花が咲いているのですが、「頭の花が枯れる・脇の下から汗が出る・羽衣が垢に汚れる・心身から発していた威光がなくなる・何もかもが嫌になる」とこれを「天人五衰」と言います。

樂園を去らねばならない悲しみに打ちひしがれていますのに、親しかった友人たちも離れて行き、一人寂しくくなると言う。何かとても寂しそうですね。途中ですが今回はここまで！

## 編集後記

今年度も半分終わってしましましたね。特別養護老人ホームにとって最大の行事である、夏祭り（秋祭り）と敬老会も終わり、今は一段落といったところ。でもあまりのんびりしてはいらしゃる方々の姿も大変で、季節行事も大変で、インフルエンザなどの感染症に気をつけつつ、クリスマスにお正月の準備…。ああ、子供の頃の一年は、長く感じたはずなのに、いつからこんなに早く過ぎ去るものに変わってしまったのでしょうか。百歳を超えた方にとっては、一年が速さに感じるのでしょうか。